

Good Health Good Life

いつも、あなたの健康のそばに

本書に関するお問い合わせ先

辰巳化学株式会社

〒921-8164 金沢市久安3丁目406番地

TEL.076-247-1231



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



環境に配慮してVOC
(揮発性有害物質)を
含まないインキを
使用しています。



印刷時に有毒な廃液が
出ない水なし印刷方式
で印刷しています。

Carbon Offset Print



1,136 $\text{e-CO}_2\text{equiv}$ \rightarrow 0

この印刷物は1冊あたり
1,136gのカーボンオフ
セットに貢献しています

CSR REPORT

TATSUMI KAGAKU CO.,LTD.

2023

辰巳化学株式会社

CONTENTS



- 3 トップメッセージ「永続企業への実践」
- 4 企業理念
- 5 事業概要
- 8 **Topics 1** 80年のあゆみ
- 10 **Topics 2** SDGsの取り組み
- 12 お客様とともに [製品をご使用いただく皆様へ]
- 14 パートナーとともに [ビジネスパートナーの皆様へ] [共に働く仲間たちへ]
- 20 地域とともに [企業市民として]
- 22 地球とともに [環境への取り組み]
- 24 健全な企業活動とともに

編集方針 辰巳化学株式会社は、医療関係者や患者様、ビジネスパートナー、地域社会、従業員など幅広いステークホルダーへの情報提供の一環として、CSRレポートを発行いたしております。この報告書は、ステークホルダーごとに基本的な取り組みの姿勢や主要な活動をわかりやすく紹介することを目指しています。なお、作成にあたっては、サステナビリティ・レポーティング・ガイドラインを参考にしています。

対象範囲 辰巳化学株式会社本社、松任第一工場・発送センター、第一研究所および各営業所
※一部取り組みについては、販売代理店・特約店も含まれます。

対象期間 2022年7月～2023年6月
※一部対象期間以外も含まれます。

発行日 2023年12月（次回発行 2024年11月予定）

TOP MESSAGE

永続企業への実践

皆様には平素より格別のお引き立てを頂き、誠に有難うございます。本年度も引き続きCSR活動に関する報告書を作成いたしましたので、本書を通じて活動の内容をご報告いたします。

弊社は石川県において、ステークホルダー皆様のご支援のもと、成長してきました。今後も持続的に成長していくためには、ステークホルダーの皆様との関係を深め、ともに発展していくことが重要であり、このCSR活動をさらに進めて行くことが重要であると考えています。国際社会の共通目標としてSDGsが浸透してきており、今後ますます地域社会との調和、持続的な成長に向けた取り組みが必要になります。

弊社では、今年度も地域の皆様との関係づくり、顧客への対応、従業員の働く環境づくり、健康経営、コンプライアンス、リスクマネジメントの推進を行ってきました。これらの

活動はCSR活動の基盤であり、今後もさらに進めてまいります。

弊社は医薬品製造業として、CSRに関する取り組みを継続し、ステークホルダーの皆様との関係性を深め、社会に貢献する企業でありたいと思います。今後も何卒ご支援をお願いいたします。



代表取締役社長
黒崎 隆博



MISSION

企業理念

我々は、安全で安心できる医薬品の提供により、健康で豊かなヒューマンライフに貢献します。

我々は、常に柔軟な発想で高度な技術にチャレンジし、付加価値の高い製品で信頼に応えます。

我々は、仕事と組織を通して、能力の開発と人格の向上を追求します。

[企業概要]

社名 辰巳化学株式会社
創立 昭和16年7月31日
資本金 1億円
代表者 代表取締役社長 黒崎隆博
従業員 約550名
事業内容 医療用医薬品の製造・販売およびその輸出
事業所 本社、松任第一工場、発送センター、第一研究所
札幌営業所、仙台営業所、東京支店、北九州営業所



本社

BUSINESS OUTLINE

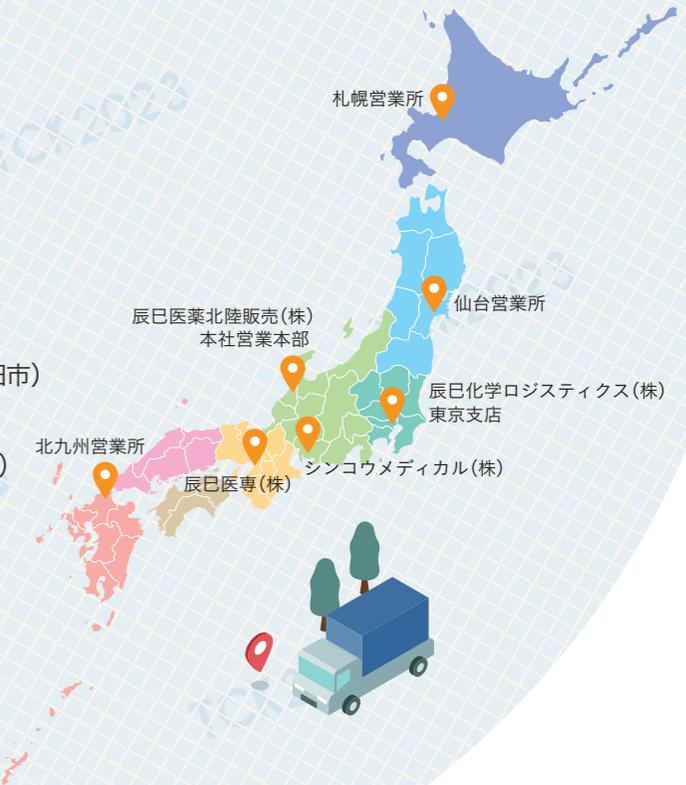
事業概要

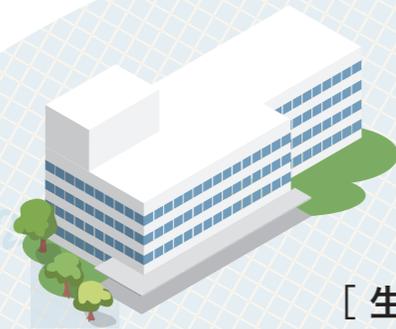
[流通体制]

医薬品の安定供給こそメーカーの使命と考え、全国47都道府県すべてを網羅する流通ネットを整備。松任第一工場に隣接された発送センターから、約120の販売代理店へ、そして全国の医療機関に医薬品を届けています。

直販ルートの拠点

本社営業本部 (石川県金沢市)
北海道地区 札幌営業所(北海道札幌市)
東北地区 仙台営業所(宮城県仙台市)
関東地区 東京支店(東京都荒川区東日暮里)
西東京地区 辰巳化学ロジスティクス(株)(東京都町田市)
北陸地区 辰巳医薬北陸販売(株)(石川県金沢市)
東海地区 シンコウメディカル(株)(愛知県名古屋市)
関西地区 辰巳医専(株)(大阪府大阪市)
九州地区 北九州営業所(福岡県北九州市)





[生産体制]

辰巳化学株式会社はジェネリック医薬品の製造販売を行っている会社です。皆様のかけがえのない健康のために、高品質な医薬品を提供し続けています。

[松任第一工場]

石川県白山市にある松任第一工場にはGMP基準に適合したG号棟、M号棟、P号棟の3つの製剤棟があります。平成28年4月より稼働したP号棟は最新の製造基準であるPIC/Sに対応した製剤棟で、これにより大幅に生産能力が引き上げられました。また、令和2年にはG号棟を増床し、充実した製造設備と徹底した空調管理により、高品質の医薬品製造を行っています。



工場全景



品質管理厚生棟



発送センター



第一研究所



G号棟



M号棟



P号棟



[製造工程]

安全・確実な製品提供を実現するために、材料受入れの段階から最終製品の出荷まで、万全の管理体制で臨んでいます。

① [原材料受入れ]



受入れ試験合格後、立体倉庫から原料一時保管室に搬入します

② [秤量→調製→整粒・混合]



秤量を済ませ、造粒、乾燥、整粒、混合の工程へと進みます

③ [打錠(錠剤)]



粉体を錠剤に成形します

④ [コーティング(SG・FC)]



コーティング(糖衣)を行います

⑤ [検査]



全自動検査機で錠剤外観を自動検査します

⑥ [包装→出荷]



自動梱包された製品の最終試験を行い出荷します

TOPICS 1

80年のあゆみ

皆さまの健康を願い続けて創業から80年以上
これからも、信頼され選ばれる
ジェネリック医薬品メーカーを目指します。

TATSUMI KAGAKU 80 years of History

1941 昭和16年

石川県金沢市上胡桃町に
資本金180,000円にて創立。

1959 昭和34年

本社ならびに本社工場を
金沢市笠舞町に新設移転する。



昭和40年代初頭
金沢市笠舞の本社前にて



昭和42年展示会の様子

1979 昭和54年

本社を金沢市三馬3丁目に移転する。
松任第一工場に第4期工事として
試験研究室、注射剤、軟膏剤、内服液
剤、資材倉庫等を増設し、本社工場
を全面移転する。



移転した松任第一工場

1973 昭和48年

本社を金沢市三馬町に新設する。
松任市(現白山市)上安田町に
松任第一工場の第1期工事として
糖衣工場を新設。

1998 平成10年

本社を金沢市久安3丁目
に移転する。



M号棟

1995 平成7年

松任第一工場にGMP基準に
沿った新製剤棟(G号棟)を増設し、
製造設備を拡充する。



平成7年当時の松任第一工場

1984 昭和59年

松任市(現白山市)福留町に第一研究所を新設。



第一研究所



G号棟

2007 平成19年

松任第一工場に新固形製剤棟(M号棟)
を増設し、GMP基準の充足を図ると
ともに生産規模を拡大する。

2010 平成22年

白山市に発送センターを建設。



発送センター竣工式

2015 平成27年

品質管理厚生棟を新設。
さらなる品質管理体制の強化を図る。
グローバル三極GMP及びPIC/Sに
準拠した内服固形製剤棟(P号棟)を
増設。需要拡大に対応する。



P号棟



品質管理厚生棟

2021 令和3年

さらなる生産能力の向上を
目的にG号棟を増床する。

TOPICS 2

SDGsの取り組み

辰巳化学は、CSRを事業と一体化したものと認識し、
企業理念のもと、自らの持続的な成長と、
誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指します。

そのために必要となる最適なガバナンス体制を築き、
社会と地球の健康に貢献する
各活動目標の達成に向けて取り組みます。



重要視する項目

3 すべての人に
健康と福祉を



辰巳化学は

- ① 安定供給、品質確保(生産戦略・品質の追求)
- ② 働き方改革(人事戦略)
- ③ イノベーション(営業強化・ICT・新規戦略)

を軸に「高品質な医薬品とサービスの創出」「地域医療基盤の強化と貢献」へ積極的に取り組んでいきます。

4 質の高い教育を
みんなに



- 組織再編による職務と役割の明確化
- キャリアパス教育体制の整備
- 人事考課・評価制度の向上

8 働きがいも
経済成長も



- 労働安全衛生の向上
- タレントマネジメントの推進
- 健康経営の推進

12 つくる責任
つかう責任



- 安定供給と安定在庫の確保
- 品質保証の強化
- リスクアセスメントの強化

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう



- サプライチェーンマネジメント
- オープンイノベーションの構築
- ステークホルダー戦略

5 ジェンダー平等を
実現しよう



10 人や国の不平等を
なくそう



16 平和と公正を
すべての人に



- ダイバーシティの推進
- 女性管理職比率の向上
- リスクマネジメント
- コンプライアンスの推進

- ワークライフシナジーの推進
- 行動規準の策定
- コーポレートガバナンス体制の構築と維持

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



- 排水管理
- 最終処分量の削減
- 環境負荷と環境リスクの低減
- 温室効果ガスの削減

- 産業廃棄物の再資源化
- 環境マネジメント
- 再生可能エネルギー利用推進
- 省エネルギー対策の推進



WITH CUSTOMERS

お客様とともに

【製品をご使用いただく皆様へ】



ジェネリック医薬品で、これからの健康社会を支えます。

「安全で安心できる医薬品の提供により人々のヒューマンライフに貢献します」
これが、経営理念として表明している、当社の思いです。



製品開発への取り組み

当社は企業理念に「安全で安心できる医薬品の提供により、健康で豊かなヒューマンライフに貢献します」を掲げています。開発においては安心、安全で高品質な医薬品を安定的に患者様のもとへ届け、服用していただくことを第一に日々製品開発に取り組んでいます。

安全への取り組み

医薬品を安心して服用していただくためには、最終製品の品質管理が最も重要であると考えています。組織として健全な品質管理体制を整え、品質保証部と品質管理部がそれぞれ独立した部門として責任を果たすことで、今後も引き続き品質と信頼性を追求していきます。

付加価値への取り組み

当社では製品の付加価値を向上させるために、全部門参加で製品企画会議を行っています。患者様が使いやすいようにPTPシートを工夫したり、製品情報を閲覧出来るQRコードの表示や医療機関で調剤しやすいように箱に工夫をしたりしています。今後も随時調査を行い、患者様にとってより使いやすい製品を目指していきます。



服薬管理しやすい工夫を施したPTPシート



製品情報を閲覧出来るQRコード



WITH
A
PARTNER

パートナーとともに

[ビジネスパートナーの皆様へ]



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



17 パートナシップで
目標を達成しよう

信頼され選ばれる、高品質な医薬品開発を続けています。

研究開発から販売まで、
信頼できるパートナーの存在が大きな力となっています。



情報共有、信頼関係構築への取り組み

当社は全国の販売会社様とともに医療機関に製品を販売しており、販売会社様との情報共有のため、製品説明会を開催しています。また、大学等、教育の場におけるジェネリック医薬品の講義や、新工場の見学者の積極的な受け入れなどとしています。それらの活動では、当社の薬の安全性や品質に関する認知を高めると同時に、ジェネリック医薬品そのものに対する理解の促進や、普及啓発にも努めています。当社ではお客様やパートナー企業とのコミュニケーションを図るだけでなく、同業の医薬品メーカー様との共同開発や受託生産も行い、協力関係を築いています。今後もパートナーとして皆様とのより強固な信頼関係を構築していきたいと考えております。



工場見学



マナー研修



全体教育

教育・研修への取り組み

人材育成は企業活動において最も重要な活動であります。当社では社会人としての考え方やマナーから始まり、各部署の専門知識を身に付けるための部署別研修、幹部候補生に対する経営戦略研修、コンプライアンス研修と多様な研修を実施しています。また、松任第一工場では、品質カルチャーの定着を図るため、従業員に対し毎月全体教育を実施しています。





WITH
A
PARTNER

パートナーとともに

[共に働く仲間たちへ]



多様な人材の活用、労働環境の整備を進めています。

人々に安全と安心を提供する企業は、
働く人への配慮も忘れていません。



表彰制度

当社では年初に永年勤続従業員の表彰を行っています。長年勤めている従業員は当社の財産であり、一人でも多くの方が長く働くことができる会社を目指します。本年度も新たに3名の新入社員が加わりました。また、社内提案に対する表彰も行っています。一つ一つの提案によって、会社が発展していくことを期待しています。

ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

当社では仕事と家庭の両立を目的に

●男性の育児休暇取得の推進 ●長時間労働の削減 ●有給休暇取得の推進
など職場環境の整備に積極的に取り組んでいます。

2019年には「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」に認定されました。今後も企業の責任として、仕事と社員の生活との調和を重視した取り組みを進めていきます。

ダイバーシティへの取り組み

当社は毎年ベトナムより技能実習生を受入れ、現在8名の研修生が働いています。その他、外国籍の従業員も在籍しています。今後も個々の多様性を生かした組織づくりを推進していきます。



永年勤続者数
[25年] 2人 [20年] 4人
[15年] 14人 [10年] 23人
社内提案件数 11件



2023年 入社式



石川県ワークライフバランス企業
ロゴマーク



いしかわ男女共同参画
推進宣言企業 認定書

健康経営を実践する取り組みを推進しています。

会社の財産である従業員の皆さんの健康が、生産性の向上につながっています。

金沢市はたらく人にやさしい事業所に認定

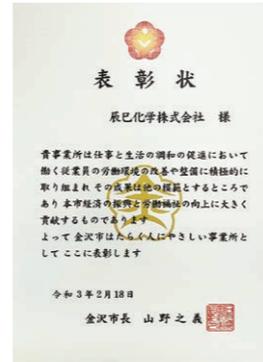
当社は金沢市より仕事と生活の調和の促進や労働環境の改善や整備に積極的に取り組み、成果をあげている先進的な事業所として「金沢市はたらく人にやさしい事業所」に認定されています。

- 有給休暇取得の推進 時間外労働時間表作成による業務の平準化
- 男性の育児休暇取得の推進 業務の見える化、ワークシェア、残業削減の取り組み
- 女性の役職登用等の女性活躍の推進 人事評価制度の透明化

生産性向上や企業価値向上にもつながる取り組みを今後も継続していきます。



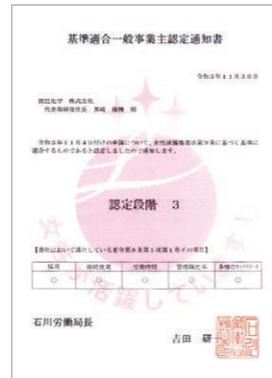
金沢市
はたらく人に
やさしい事業所



金沢市はたらく人にやさしい事業所
表彰状

女性活躍推進への取り組み

当社は女性が活躍出来る職場環境の整備を図ることを目的に、育児と仕事の両立、女性の管理職比率の向上、労働時間の削減、女性の正社員採用の増加など継続な取り組みを行ってきました。その結果、石川労働局より基準適合一般事業主に認定されました。



基準適合一般事業主認定通知書



かがやき健康企業に認定

当社は、全国健康保険協会石川支部主催の「かがやき健康企業宣言」に参加しています。この制度は、従業員の健康を重要な経営資源と考え、企業が中心となって従業員の健康維持、増進への取り組みをサポートするもので、当社は「かがやき健康宣言優良企業」に認定されています。今後もさらに社員みなさんの健康づくりを推進し、働きやすい環境づくりを整備していきます。

《健康経営に関する主な取り組み》

- 「健康づくり責任者」を選任し、従業員の健康保持増進を促進
- 従業員への健康意識の啓蒙
- ウォーキング大会などスポーツイベントを通じた従業員の運動への取り組みの啓蒙
- 地域イベントへの参加などを通じた地域とのコミュニケーション促進
- ワーク・ライフ・バランス充実への取り組み



かがやき健康企業宣言優良企業ロゴマーク

白山市健康づくりゴールド事業所に認定

松任第一工場は、健康経営に主体的に取り組む事業所として白山市より「健康づくり宣言事業所」に認定されています。地域発展のためにも、従業員の健康づくりに継続的に取り組んでいます。



白山市健康づくりゴールド事業所
認定証



WITH
THE
COMMUNITY

地域とともに

[企業市民として]



地域に根ざす企業には、果たすべき役割があります。

会社は地域の人々によって支えられています。

当社は石川県にある数少ない製薬会社として、地域に貢献する義務があります。
工場見学やインターンシップへの取り組みを通じて、地域貢献を実践しています。



地域振興を通じて未来をつくる

地域未来牽引企業として

当社は、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手となる企業として経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定されています。地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の経済成長を力強く牽引する中核企業として、更なる地域貢献を目指します。

工場見学への取り組み

ジェネリック医薬品が広く普及するに連れ、地域の方々の薬に対する関心も高まってきました。最新の設備と見学通路を備えたP号棟には多くの見学者が訪れています。製薬企業の生産工場を身近に感じていただき、より理解を深めていただけることを願っています。

インターンシップ・大学との連携への取り組み

医薬品への理解を深める学習の場として学生のインターンシップの受け入れを行っています。これらの活動により製薬会社を目指す人材が育つことを期待しています。

スポーツ支援で地域振興

地域のスポーツ振興に貢献することは、健康に奉仕する企業として大事なことです。子供たちの健やかな成長を願い、白山市で開催される小学生バレーボール大会を毎年応援しています。



地域未来牽引企業 認定書



地域未来牽引企業
地域未来牽引企業 ロゴマーク



工場見学



白山カップ小学生バレーボール交流大会

健全な企業活動とともに



皆様に健やかな明日をお届けするためには、
企業も健全でなければなりません。

健全な企業活動はコンプライアンスの上に築かれるものです。
当社はコンプライアンスに関する取り組みとリスクマネジメントを通じて、
健全な企業活動を継続します。



リスクマネジメント

事業継続力強化計画

2011年に発生した東日本大震災以降、毎年のように大規模な自然災害が全国各地を襲っています。さらに、新型コロナウイルス感染症など、自然災害以外のリスクも出現していることから、当社では、有事に対する備えとしてBCP(事業継続計画)を定め、さらにBCP基本計画中に「感染症対応マニュアル」を追加しました。また、当社では、株式会社日本政策投資銀行より、DBJ BCM格付、DBJ健康経営格付を取得し、BCP及び従業員の健康管理に関する取り組みを強化しています。その他子会社を含めた、相互協力体制を構築することをまとめた「連携事業継続力強化計画」が、経済産業省より認定されております。私たちは、どんな時も皆様により良い医薬品を安定供給するために、供給責任を果たし、さらなる事業活動の継続力強化を目指しています。

医薬品の安定供給について

当社は医薬品の安定供給マニュアルを作成し、医療機関に必要な医薬品を継続的に供給できる体制を整えています。毎月全部門参加の安定供給会議を開催し、社内情報を共有することにより医薬品の安定供給を実現します。今後もこの取り組みを強化していきます。



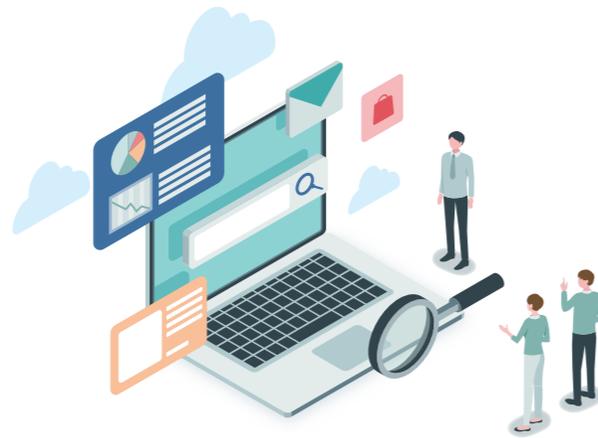
コンプライアンス

近年、製薬会社にとってコンプライアンスは一層重要なものとなりつつあります。当社はコンプライアンスを推進するために企業行動憲章を定めました。社員一人ひとりが行動憲章を守ることにより、コンプライアンスに対する意識が高まるものと考えております。今後も研修等を通じてコンプライアンスに関する意識の向上に努めていきます。

【企業活動と医療機関等の関係の透明性に関する指針について】

当社が行うあらゆる活動は、日本ジェネリック製薬協会(以下、GE薬協)で定める「GE薬協企業行動憲章」、「GE薬協コンプライアンスプログラムガイドライン2021」、「医療用医薬品プロモーションコード」をはじめとする関係諸規範およびその精神に従います。

当社は、今般、GE薬協が策定したガイドラインに従い、当社がその活動の透明性を高め、社会からさらに高い信頼を得られる製薬企業となることを目指して、医療機関等との連携活動に関する情報を公開することと致しました。公開方法はホームページを通じ、前年度分の医療機関等への資金提供について決算終了後に公開することとしました。



企業行動憲章

辰巳化学株式会社の使命は、経済性がある品質の優れたジェネリック医薬品を開発・供給することにより、人々の健康と福祉と医療に貢献し、持続可能な社会の発展に寄与することです。

そのため、コンプライアンスを経営上の最重要課題とし、次の行動原則に基づき、国の内外を問わず、人権を尊重するとともに、すべての法令、国際ルール、社会規範、社内規範を遵守し、持続可能な社会の実現に向けて、高い倫理観をもって行動する。

1. 持続性のある医療保険制度に貢献するジェネリック医薬品を安定的に供給し、医療コストの効率的配分及び国民の健康と福祉に貢献する。
2. 臨床試験は、医療機関の協力を得て、被験者の人権を尊重するとともに、安全確保に留意し、かつ科学的厳正さをもって遂行する。非臨床試験として必要な動物実験は動物福祉に十分配慮して行う。
3. 医薬品の適正使用を確保するため、医療関係者や患者さんに対し品質・有効性・安全性に関する情報を的確に提供するとともに、製造販売後の情報の収集・分析評価とその伝達を迅速に行う。
4. 医療関係者や患者さん等と誠実なコミュニケーションを図り、満足と信頼を獲得する。
5. 公正で自由な競争を通じ、医薬品として適正な取引と流通を行うとともに責任ある調達を行う。また、医療関係者を始め、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つ。
6. 企業を取り巻くステークホルダーとの対話を行い、企業情報を適切かつ公正に開示する。
7. 個人情報・顧客情報ははじめとする各種情報の保護・管理を徹底する。
8. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の活動と存続に必須の要件であることを認識して、主体的に行動する。
9. 従業員の多様性・人格・個性を尊重し、倫理観の高揚を図るとともに、健康と安全に配慮した働きがいのある環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現する。
10. 良き企業市民として、積極的に社会に参画し、その発展に貢献する。
11. 国内外の全ての人々の人権を尊重した経営を行う。
12. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対し毅然とした対応を行い、関係遮断を徹底する。また、テロリズム、サイバー攻撃、自然災害、パンデミック等に備えて危機管理を徹底する。
13. 事業活動のグローバル化を推進し、各国・地域の法律の遵守、人権を含む各種の国際規範の尊重はもとより、文化や慣習、ステークホルダーの関心に配慮した経営を行い、当該国・地域の経済社会の発展に貢献する。
14. ジェネリック医薬品の普及を推進する国際的取組みに参画し、その発展に貢献する。
15. 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、自社およびグループ企業に徹底するとともに、取引先に周知させる。また、社内外の声を把握し、実効あるガバナンスの構築を行うとともに、企業倫理の徹底を図る。
16. 本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたり、原因究明、再発防止、信頼の回復に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行う。